

平成 22 年 9 月 補正予算要求事業調書

1 予算要求事業の概要

No.	事業名(予算の事務事業名)			区分	
8	「赤ちゃんの駅」設置事業(子育て支援推進事業(子育て企画課))			新規	拡大 継続
会計区分	款	項	目	所管	
一般会計	3	4	2	子ども未来局 子ども育成部 子育て企画課	
事務事業の位置付け					
しあわせ倍增プラン2009	番号		事業名		
総合振興計画新実施計画	事業コード		事業名		
根拠法令・条例・規則等					
予算要求事業の概要					
内容	本市において乳幼児を連れた保護者の快適な外出を支援する必要があるため、埼玉県が県内4,000か所の設置を目標に実施する「赤ちゃんの駅」設置事業にともない、埼玉県の補助金を活用し、さいたま市内の公共施設等に授乳あるいはおむつ替えができる「赤ちゃんの駅」を整備・登録します。				
目的・目標	<p><目的> 乳幼児を持つ子育て家庭が安心して外出ができる環境づくりを目指します。</p> <p><目標(平成22年度末)> ・必要な備品を購入し、新規設置する施設 164か所 駅 227か所 ・備品設置済みのため、シールのみ対応 64か所 駅 118か所 「赤ちゃんの駅」登録見込み施設合計 228か所 駅 345か所</p>				
現状と課題	<p><現状(平成21年度末)> 整備済み施設 64か所</p> <p><課題> 埼玉県の補助金については平成22年度限りであるため、今後、ベビーベットのシーツのクリーニング代など「赤ちゃんの駅」維持経費が必要となる施設もあります。</p>				
今後のスケジュール	<ul style="list-style-type: none"> 平成22年10月 契約課にて入札を実施 平成22年11月～2月 「赤ちゃんの駅」設置事業スタート(市内施設へ備品の設置) 平成23年3月 埼玉県へ事業完了報告 平成23年度 各施設にて「赤ちゃんの駅」の管理 				

2 補正予算要求の理由と効果

要求理由	緊急性	子育て家庭へのアンケート結果でも外出の際の利便性の向上が望まれており、また、県内他市町村では14都市ですでに実施されているため、県内随一の人口を抱えるさいたま市として、早急に本事業を実施する必要があります。 なお、埼玉県からの補助は平成22年度限りであり、業者選定、備品設置にかかる期間を考慮すると遅くとも11月に備品設置を開始する必要があります。
	実施義務	根拠法令等
効果	他市の実施状況	政令市：岡山市、広島市、北九州市、福岡市(札幌市、横浜市類似事業実施) 県内他市：64市町村(先行実施市 14市)
	対象者	乳幼児をもつ子育て家庭
	効果	市内に住む子育て家庭が安心して外出できる環境が作られ、市民の利便性が向上します。

3 補正前予算額、補正予算要求、査定の内容 (単位：千円)

	金額	備考
平成22年度	補正前予算額	0 <積算内訳>
	財源内訳	
9月補正予算	補正予算要求	22,700 <積算内訳> 1 「赤ちゃんの駅」備品購入 【新規】 17,700 2 「赤ちゃんの駅」消耗品購入 【新規】 5,000
	財源内訳	県支出金 22,700 ・県補助金 補助率 10/10
9月補正予算	財政局長査定	22,700 <査定内容> 1 「赤ちゃんの駅」備品購入 【新規】 17,700 2 「赤ちゃんの駅」消耗品購入 【新規】 5,000
	財源内訳	県支出金 22,700 ・県補助金 補助率 10/10
<査定理由> 「赤ちゃんの駅」を設置することにより、乳幼児を連れた保護者の快適な外出を支援することができることから、9月補正予算に計上することとしました。		
9月補正予算	市長査定	22,700 <査定内容> 1 「赤ちゃんの駅」備品購入 【新規】 17,700 2 「赤ちゃんの駅」消耗品購入 【新規】 5,000
	財源内訳	県支出金 22,700 ・県補助金 補助率 10/10
<査定理由> 財政局長査定の内容及び理由について、適正と認められるため、財政局原案のとおりとしました。		